

編集後記

遅ればせながら新年の御挨拶を申しあげます。

昨年1年間に泌尿器科紀要には、209編の原著論文が1,596頁に掲載され、そのほか特集号が1冊出されております。卒直に申しまして、これだけの論文の編集、校正は並大抵のことではありませんが(特に桐山奮夫助教授に負うところが大きいです)、斯界に貢献しているという自負が、何物にも勝るわれわれの心の支えであります。

本年もよろしく願いたします。

(O. Y.)

購読要項(1981年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込む。

投稿規定(1981年1月改定)

1. 投稿:連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿:泌尿器科学領域の全般にわたり総説、原著、症例報告、その他で和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田:または山田・ほか:)と、2語(例:前立腺がん・PSAP)からなるrunning titleおよび5語(英文)以内のkey wordsを付す。
 - (ロ) 英文抄録;ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
- (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位はm, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C, pH などとする。

- (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明は和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとし、なるべく英文とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例:山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)。

雑誌の場合—著者名(全員):題名. 雑誌名, 巻:最初頁~最終頁, 発行年.

単行本の場合—著者名(全員):題名. 書名, 編集者名, 版数, 巻数, 引用頁, 発行所, 出版地, 発行年.
 - (7) 原稿は書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
 - (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

泌尿器科紀要 第27巻 第1号 1981年1月25日 印刷 1981年1月31日 発行

創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤 二

発行 吉田 修

発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入